

残留農薬や食品添加物をどのくらい食べてるの？

市民のみなさんが残留農薬や食品添加物を食事からどのくらい摂取しているか把握するために、残留農薬や食品添加物の一日摂取量を調査しています。(方法:マーケットバスケット調査方式)

今回は平成19、20年度におこなった一日摂取量調査の結果についてお知らせします。

残留農薬ってなに？

作物等を栽培するときに使用した農薬の一部が食品中に残留してしまったものです。

食品添加物ってなに？

食品を製造・加工するときに、保存性や味、見た目をよくする目的で使用されるものです。主に保存料や甘味料、着色料などがあります。

- ★人体への安全性などを考慮して、食品ごとに基準値が定められています。
- ★農薬や食品添加物が基準値を超えて残っている食品は、その輸入・使用・販売等が禁止されています。

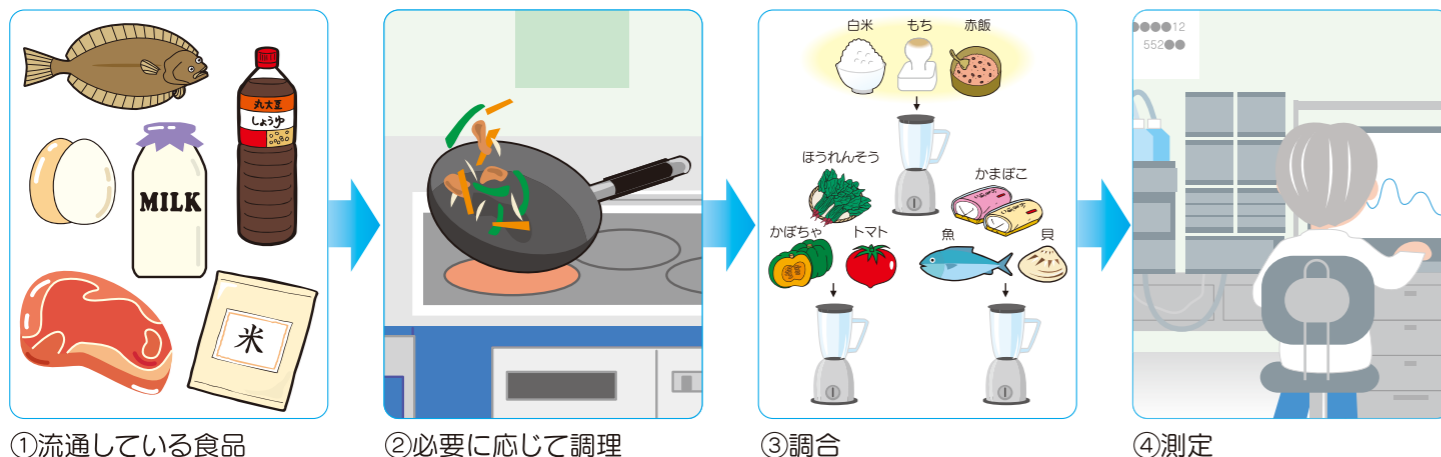
マーケットバスケット調査方式ってなに？

- ①スーパー等で売られている食品を入手します。
- ②必要に応じて調理をするなど、実際に食事をするときの状態にします。
- ③それらを、いくつかの食品群(穀類、緑黄色野菜類、魚介類など)に分けて、食品群ごとに混ぜます。
- ④その中に含まれている残留農薬や食品添加物の量を測定します。
- ⑤測定値に「一日あたりの喫食量※1」をかけて、みなさんが日々の食事から一日あたりに摂取している残留農薬や食品添加物の量を計算します。

※1「一日あたりの喫食量」= 人が一日に食べている食事の量
(厚生労働省がおこなっている国民栄養調査結果から求められています。)



一日摂取量調査の流れ



調査結果

(残留農薬)

平成19年度は57農薬、平成20年度は40農薬を調査しました。その結果、表1のように計8農薬が検出されましたが、いずれの摂取量も一日摂取許容量(ADI)の100分の1未満で安全上の問題はないと考えられました。

(食品添加物)

平成19年度は保存料3種類、平成20年度は品質保持剤1種類を調査しました。その結果、表2のように保存料2種類と品質保持剤1種類が検出されましたが、いずれの摂取量も一日摂取許容量(ADI)の100分の1前後で安全上の問題はないと考えられました。

表1 残留農薬の一日摂取量および一日摂取許容量(ADI)との比較

調査年度	農薬名	用途	一日摂取量(μg)	ADI(mg/kg/day)	対ADI比※(%)
H19	フルアジホップ	除草剤	0.059	0.01	0.012
H20	アゾキシストロピン	殺菌剤	0.26	0.18	0.003
	イミダクロプリド	殺虫剤	0.58	0.06	0.019
	シラフルオフェン	殺虫剤	0.056	0.11	0.0001
	チアクロプリド	殺虫剤	0.62	0.01	0.12
	チアメトキサム	殺虫剤	1.2	0.018	0.13
	ノバルロン	殺虫剤	0.28	0.011	0.051
	ルフェヌロン	殺虫剤	0.0059	0.0047	0.003

表2 食品添加物の一日摂取量および一日摂取許容量(ADI)との比較

調査年度	食品添加物名	用途	一日摂取量(mg)	ADI(mg/kg/day)	対ADI比※(%)
H19	ソルビン酸	保存料	12.12	25	0.97
	安息香酸	保存料	1.25	5	0.50
H20	プロピレングリコール	品質保持剤	13.68	25	1.09

※表1、2とも対ADI比は平均体重50kgとして計算しています。



ADI(一日摂取許容量)ってなに？

人がある物質の一定量を一生涯にわたって毎日摂取し続けても健康に悪影響がないと推定される「一日あたりの摂取量」です。

農薬の残留基準や食品添加物の使用基準などはこのADIを超えないように設定されています。

調査結果は保健環境研究所のホームページでもご覧いただけます。

保健環境研究所保健科学課(理化学)のホームページ
ようこそチーム「キャロロ」へ

<http://www.fch.chuo.fukuoka.jp/dna/index.html>

